

遠隔監視用電話回線装置

Super81V

取扱説明書



- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- A4版の取扱説明書はインターネットからダウンロード出来ます。
(URL <http://www.sis-tec.co.jp/densuke/super81/Super81V.htm>)

第I版	平成12年	9月30日
第III版	平成13年	9月21日
第IV版	平成14年	2月19日
第V版	平成15年	10月09日
第VI版	平成16年	11月15日
第VII版	平成19年	4月24日



〒783-0014 高知県南国市元町1丁目8番2号

Tel : 088-864-0160

Fax : 088-864-0166

** 目次 **

1. 概要	2
2. 系統図	2
3. ブロック図	2
4. 外観図	3
5. 設定部 及び 接続部	4
6. 仕様	6
6-1 一般仕様	6
6-2 NCU部仕様	6
6-3 通信部仕様	6
7. コネクタ及び外部接続端子台	7
7-1 外部接続端子台	7
7-2 電源端子台	7
8. モードと設定レベル	8
9. 運転モード(監視モード)	9
9-1 運転中の表示	9
9-2 通報動作	10
9-3 出力接点の制御	10
10. 設定モード	11
10-1 基本操作	11
10-2 設定項目	13
10-2-A レベル1の設定	13
10-2-B レベル2の設定	14
11. 通報履歴の確認	24
12. ポケベル発信	24
13. 電話への通報	25
14. メール(A)への通報	26
15. メール(B)への通報	27
16. リトライ動作	28
17. 音声合成メッセージ一覧	30
18. エラー表示	31
19. 困ったときには	32
20. 停電時動作保証電池(2007年4月生産分より変更)	33

1. 概要

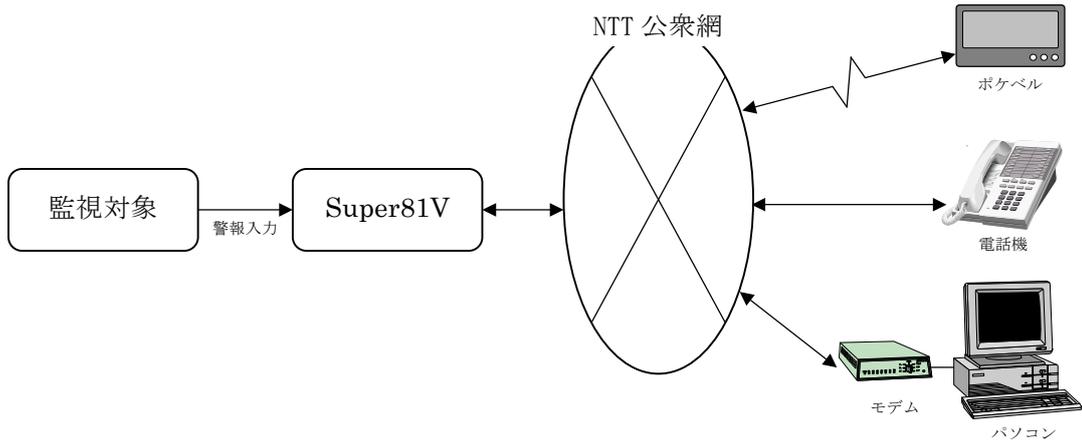
本端末機は、入力 8 点、出力 1 点を有し入力変化があると、自動的に発信してモデム、ポケベル、電話機に音声、携帯電話にメールで通報する機能を持っています。また、各入力ごとに通報先の選択ができます。

通報先電話番号は液晶ディスプレイと押釦スイッチで対話方式に 5 ヶ所まで登録できます。

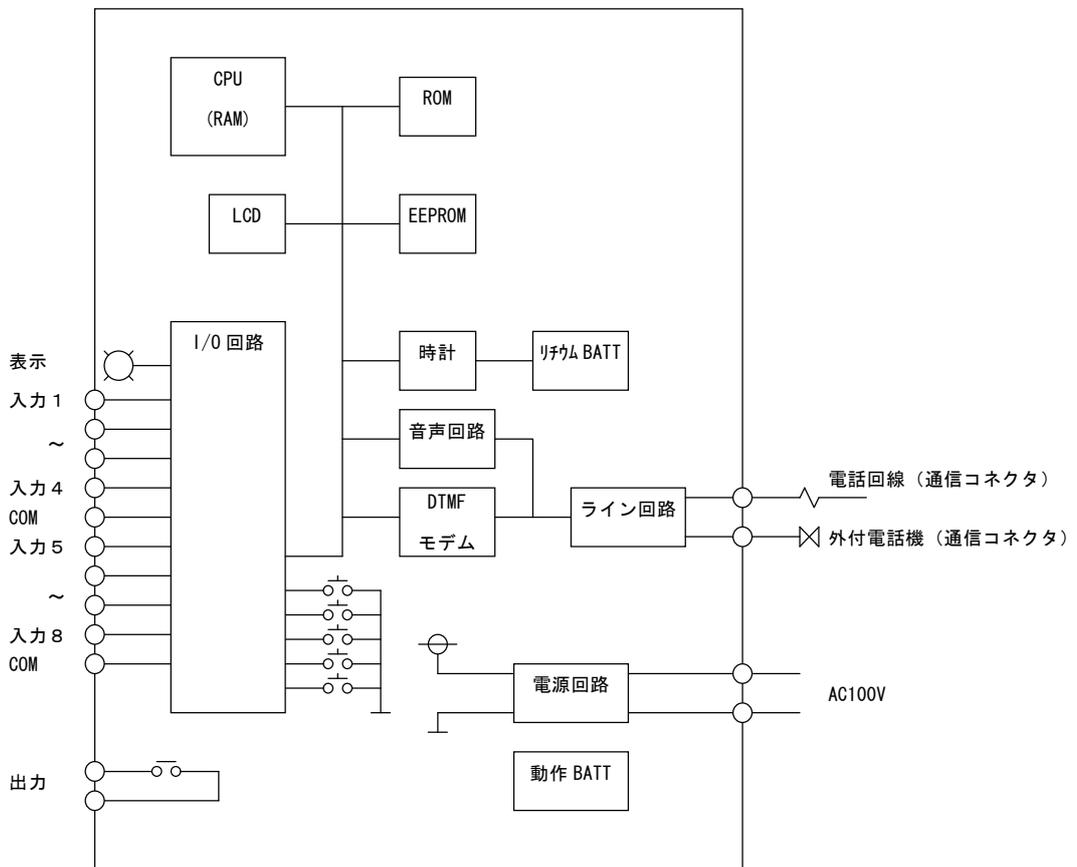
通報履歴情報を過去 10 件まで記録しており、また、それらのデータはEEPROMに記憶し、停電によるデータの消滅を防止しています。

本体のバックアップ電池を備えており、停電も警報として発信することが可能となっています。

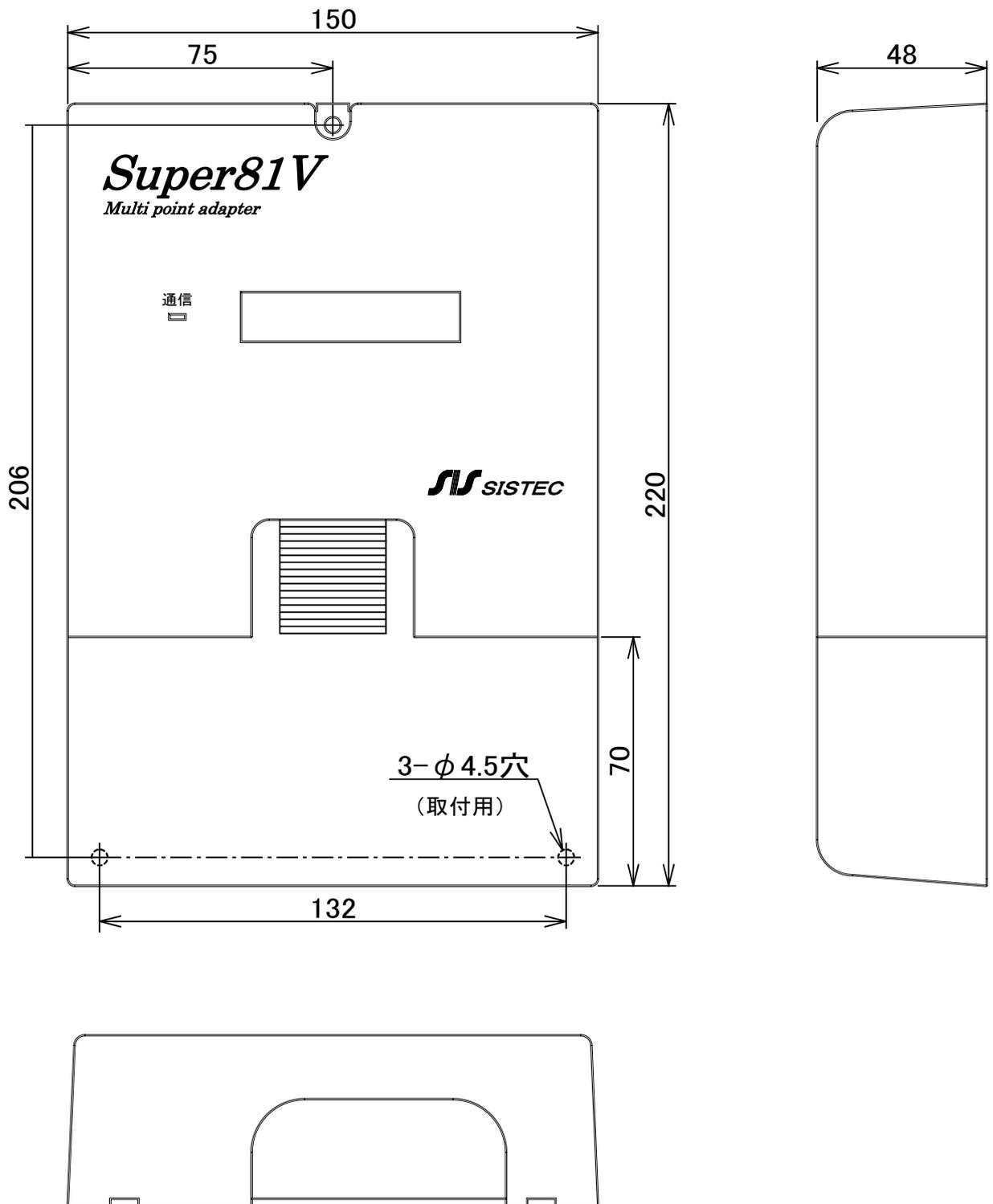
2. 系統図



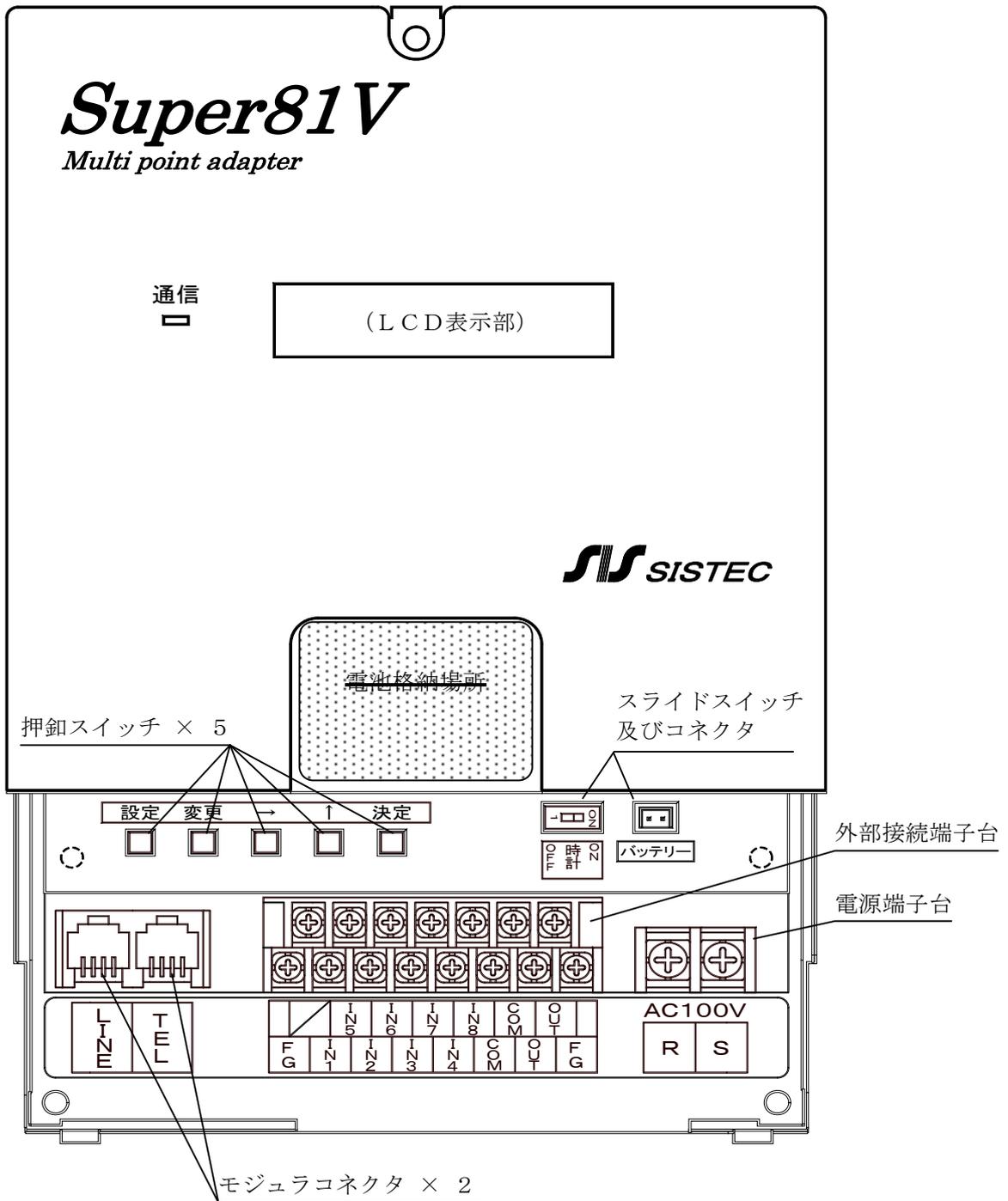
3. ブロック図



4. 外観図



5. 設定部 及び 接続部



※ 接続部カバーを取り外した図

- ・通信 (ランプ) : 通信中に点灯します。
- ・LCD表示部 : メッセージ等を表示します。

※ 2007年4月製造分より、電池の格納場所が変更されています。(33ページ参照)

・モジュラーコネクタ

LINE : NTT電話回線、又は構内回線に接続して下さい。

TEL : 外付電話機を接続する事ができます。

・押釦スイッチ

設定 : <設定キー>

監視モードと設定モードとを切替える際に使用します。

変更 : <変更キー>

設定モードの時、指定した設定項目が変更する際に使用します。

→ : <シフトキー>

設定モードの時、設定項目を指定する際に使用します。

↑ : <アップキー>

監視モードの時

=異常通報確認モードに移行する際に使用します。

異常通報確認モードの時

=次の記録内容を表示する際に使用します。

設定モードの時

=カーソル位置の数値または記号をインクリメント
(進める)際に使用します。

決定 : <決定キー>

異常通報確認モードのとき =監視モードに戻る際に使用します。

設定モードのとき =設定内容を登録する際に使用します。

・外部接続端子台

監視用の接点です。(7-1を参照して下さい。)

・電源端子台

本機の電源の端子台です。AC100Vを接続して下さい。(7-2を参照して下さい。)

・スライドスイッチ及びコネクタ

OFF - 時計 - ON : 時計用電池のスイッチをON/OFFする。本機使用時は必ずONにして下さい。

(OFFで使用すると、時計が初期化され、デタラメな時刻が表示されます。)

バッテリー : 停電時に動作保証する電池用のコネクタで、本機使用時は電池のケーブルをこのコネクタに接続して下さい。

※ 電池格納場所には停電時に動作保証する電池を格納しています。

6. 仕様

6-1 一般仕様

項目	内容
電源	AC100V
消費電流	10VA 以下
バックアップ電池	20R8H (P006 型 Ni-Mh 電池 8.4V/200mAh) GP バッテリー
停電補償時間	本体：20 分(*), 時計バックアップ：1 週間
周囲温度、湿度	0～55℃, 25～85%RH
耐振動	JIS C0911 に準拠
周囲雰囲気	腐食性ガス、塵埃のない場所
寸法	150(W)×48(D)×220(H)
重量	約 0.7 kg

(*)電池の 100%充電を条件とする。

6-2 NCU部仕様

項目	内容
適用回線	電話回線
回線接続方式	通信コネクタ (モジュラー6 極 2 芯)
網制御機能	AA
制御CPU	8 ビット
選択信号種別	PB/DP(20pps)/PBX : 内部設定
直流抵抗	204Ω
自動発信入力	入力変化 (A 接点/B 接点、設定可能)
リダイヤル機能	有り (リトライ間隔は 60 秒)
ポケベル発信	可能

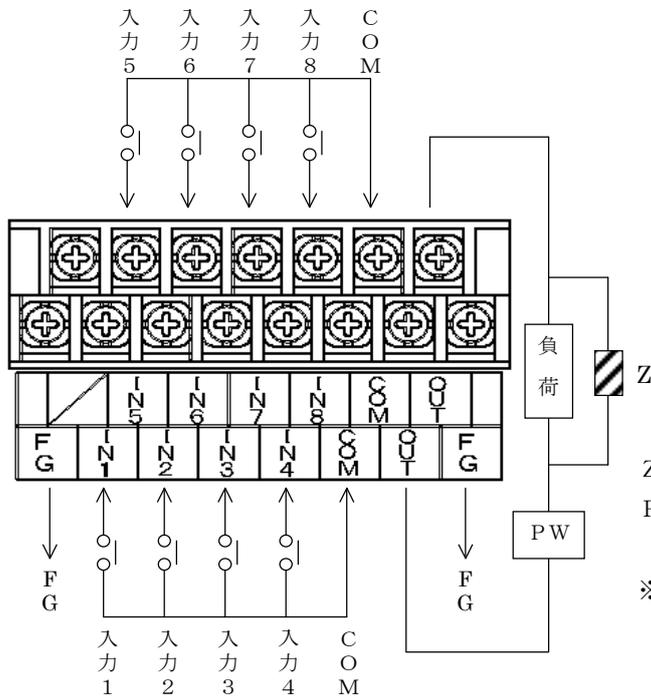
6-3 通信部仕様

項目	内容
通信方式	DTMF、V.22bis (通信速度：2400bps)
インピーダンス	600Ω
ID 信号	10 進 5 桁 (上位 2 桁アルファベット設定可)
入力	8 点 入力電流 10mA / 端子台
出力	1 点 (リレー接点) . 1A/DC48V.AC100V 以下 / 端子台

7. コネクタ及び外部接続端子台

7-1 外部接続端子台

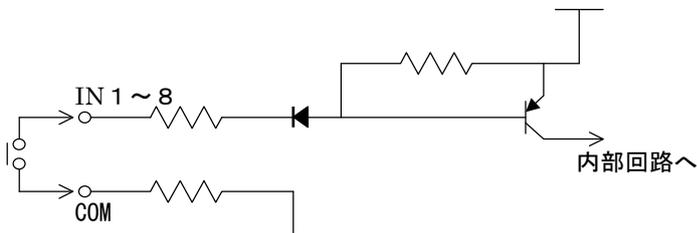
◇接続図



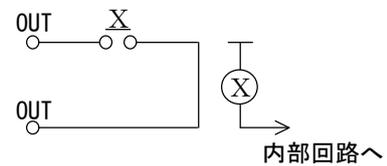
Z : 負荷のスパーク対策をして下さい。
PW : DC 48Vもしくは、AC 100V以下です。

※ F Gは必ず取って下さい。

◇入力等価回路

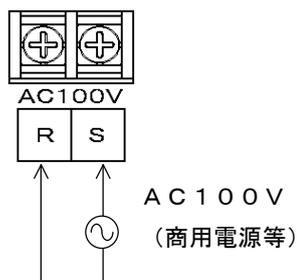


◇出力回路



7-2 電源端子台

◇接続図



8. モードと設定レベル

■ 運転モード（監視モード）

接点入力の監視や通報を行うためのモードです。

■ 設定モード

各種の設定を行うためのモードです。

監視モードの時、設定キーを2秒以上押し続けると、設定モードに入ります。

監視モードに戻る時は、もう一度設定キーを押して下さい。

設定モードでは設定項目によってレベル1とレベル2に分かれています。

監視モードから直接移行できるのはレベル1だけで、レベル1の時に、決定キーと設定キーを同時に押すと、レベル2に入ります。

レベル2からレベル1に戻るときは設定キーを押します。

■ 通報確認モード

通報の履歴を確認するためのモードです。

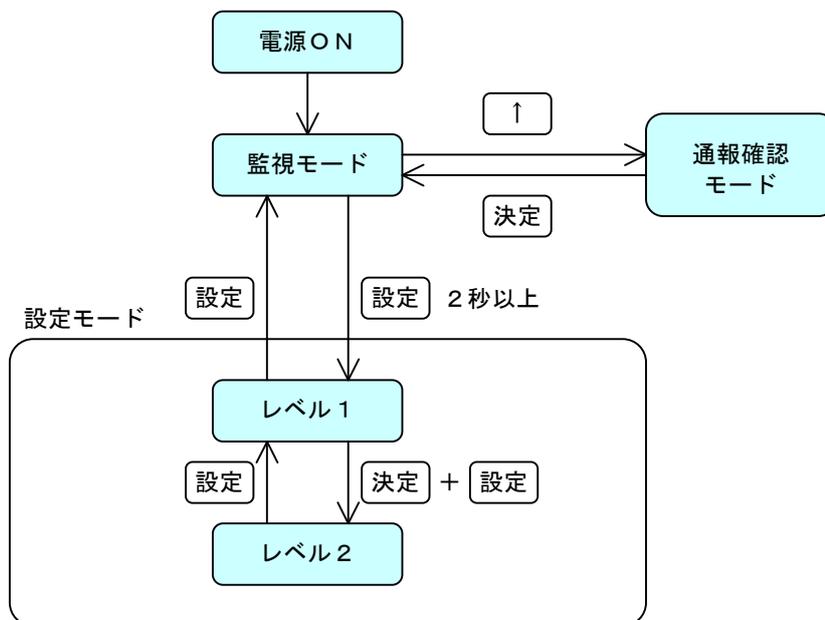
このモードでは、現在の接点入力の状態や現在の時刻を確認することもできます。

監視モードの時、アップキー（↑）を押すと、通報確認モードとなります。

監視モードに戻る時は、決定キーを押して下さい。

■ 各モード間の移行方法

各モード間の移行とキーの使い方は、次のようになります。



※LCDにエラーメッセージが表示されている時、または、設定モードの時は、通報は行いません。

9. 運転モード(監視モード)

9-1 運転中の表示

Super 81Vは運転中に、LCD表示器で運転状態を常にモニタできます。

◇通常運転中

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
				S	u	p	e	r	8	1	V		M	O	N	
		'	9	7	/	1	2	/	2	5		1	2	:	2	5

*電源が外部電源より供給されている場合はLCDのバックライトが点灯しています。

◇電話呼出中

				S	u	p	e	r	8	1	V					
C	A	L	L	I	N	G		N	O	W						

◇通信中

				S	u	p	e	r	8	1	V					
O	N		L	I	N	E										

◇リダイヤル待機中

				S	u	p	e	r	8	1	V					
R	E	D	I	A	L						1	:	1	■		

*下段後ろの点滅しているカーソルの前で、発信電話番号とリダイヤル回数が表示されます。

◇停電中

				S	u	p	e	r	8	1	V				P	D

*外部電源の供給が止まった場合(停電時)、LCDのバックライトは消灯します。

9-2 通報動作

Super 81Vは入力1～8の接点に変化があった時に通報動作を行います。

通報先は『10-2 設定項目』内、『10-2-A レベル1の設定』の『通報先電話番号』と『通報先種別』の設定を参照下さい。

- ・『通報先種別』が『モデム』と設定されている時にはSuper 81Vとモデムの通信を行い通報処理を行います。
通信プロトコル、及び通信フォーマットに関しては別冊の『Super 81V通信説明書』を参照して下さい。
- ・『通報先種別』が『ポケベル』と設定されている時にはポケベルに通報メッセージを送信し通報処理を行います。
異常通報メッセージは『12. ポケベル発信』の『(1) 異常通報』を参照して下さい。
- ・『通報先種別』が『オンセイ』と設定されている時には電話機に発信し音声メッセージで異常通報処理を行います。
音声メッセージは『13. 電話への通報』の『(1) 異常発生・復旧通報』を参照して下さい。

9-3 出力接点の制御

Super 81Vは出力接点を通信で制御が可能です。

出力接点の制御コマンドの通信プロトコル、及び通信フォーマットに関しては別冊の『Super 81通信説明書』を参照して下さい。

- ・出力接点の動作
通信で出力接点がON(OFF)されると、回線が切断されても動作を継続します。
但し、Super81V電池バックアップが無くなると出力接点はOFFになるのでご注意ください。

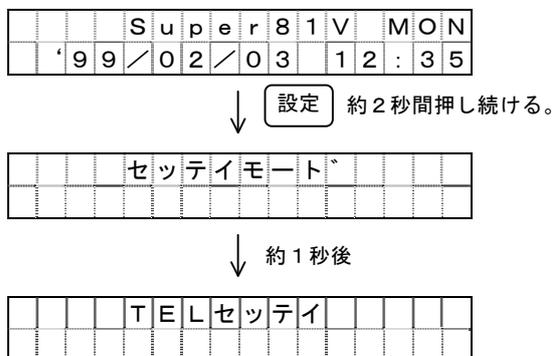
10. 設定モード

10-1 基本操作

現場Noの設定を例に説明します。

■設定モード

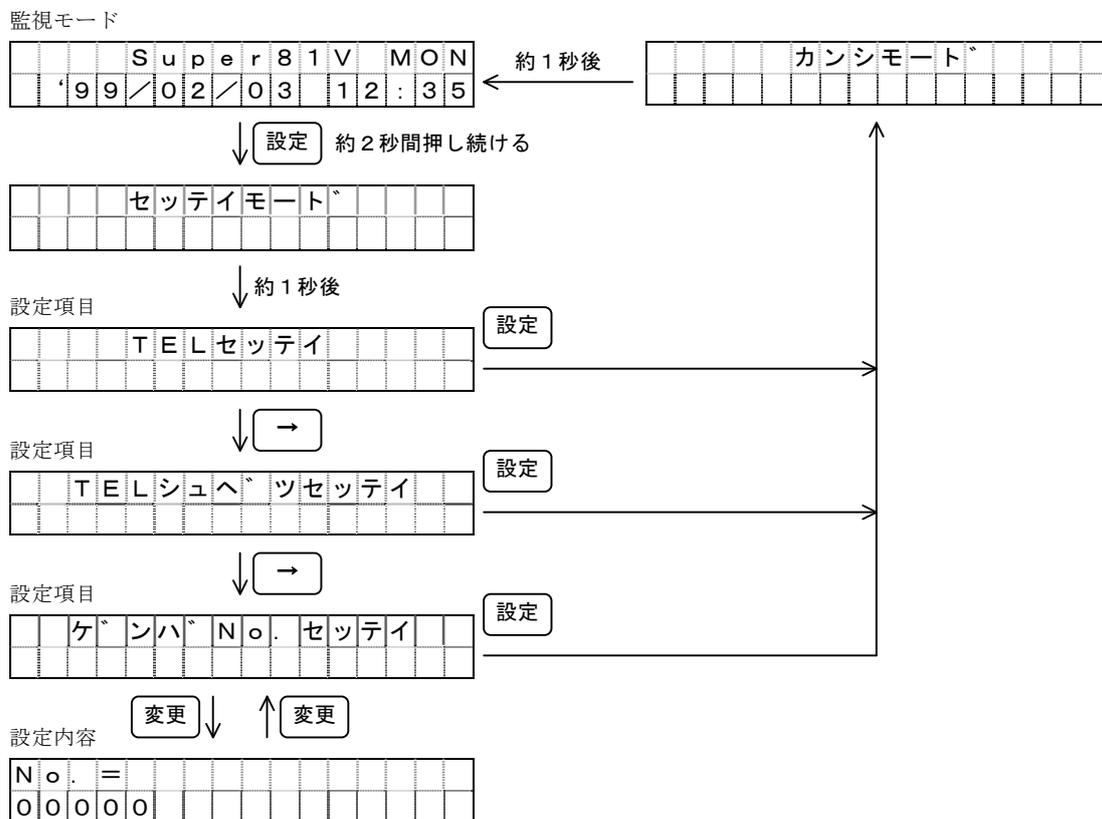
監視モードで約2秒間設定キーを押し続けると設定モードに入り、設定モードのタイトル「セッテイモード」が表示されます。その後、自動的に（約1秒後）、最初の設定項目「TELセッテイ」が表示されます。



■設定項目の指定

設定項目が表示されている時、シフトキー（→）を押すと、順次、設定項目が変わります。目的の項目になった時に変更キーを押すと、その項目の設定内容とカーソルが表示され、編集が可能となります。

設定内容を編集時に、再度変更キーを押すと、設定項目の表示に戻ります。設定項目が表示されている間に設定キーを押すと、監視モードに戻ります。



■設定内容の編集と変更

シフトキー（→）とアップキー（↑）で設定内容を編集します。カーソルを移動させるためにはシフトキーを、カーソル位置の値を変えるためにはアップキーを押して下さい。
設定内容の編集後、決定キーが押されると編集した内容に更新されます。

N	o	.	=																
0	0	0	0	0															



N	o	.	=																
0	0	0	0	0															



N	o	.	=																
0	1	0	0	0															



現場No.が「01000」に更新されます。

N	o	.	=																
0	1	0	0	0															

■設定作業の終了

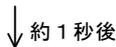
設定内容が表示されている時、変更キーが押されると設定項目選択の画面へ戻ります。
また、設定項目選択に戻った後、シフトキー（→）が押されると、他の設定項目に移行します。
さらに設定項目選択の画面で設定キーを押されると、監視モードに戻ります。

N	o	.	=																
0	1	0	0	0															



				ケ	ン	ハ		N	o	.	セ	ッ	テ	イ					





				S	u	p	e	r	8	1	V		M	O	N				
				'	9	9	/	0	2	/	0	3		1	2	:	3	5	

10-2 設定項目

10-2-A レベル1の設定

監視モードのとき、設定キーを2秒以上押すとレベル1の設定モードに移ります。

設定項目	設定内容	参照ページ
通報先電話番号	通報先の電話番号を設定します。 通報先 : 5カ所まで 番号桁数 : 16桁まで (ポーズも含む) 初期値 : なし	15
通報先種別	通報先の機器を選択します。 通報先種別 : モデム / ポケベル / 音声 / メール(A) / メール(B) 初期値 T1 : モデム ・T2 : オンセイ ・T3 : オンセイ T4 : オンセイ ・T5 : オンセイ	16
現場No.	通報元を番号で識別します。 設定範囲 : 00000 ~ ZZ999	17
年月日・時刻	時計を設定します。 年 : 00 ~ 99 月日 : 1 / 1 ~ 12 / 31 時刻 : 0 : 00 ~ 23 : 59 曜日 : 日曜日 ~ 土曜日 ※うるう年および大の月、小の月は、自動判別します。 本装置を使用する際には時計用電池のスイッチを必ずONにしてください。	18
回線種別	Super 81Vを接続する回線の種別を選択します。 回線 : PB / DP (20PPS) / PBX (注 : 19p 参照)	19

太字は初期値です。

10-2-B レベル2の設定

レベル1の設定モードのとき、決定キーを押したまま、設定キーを押すとレベル2の設定モードに移ります。

設定項目	設定内容	ページ
リトライ回数	話中などで通報できないときのリトライの繰り返し回数を設定します。 設定範囲：00～99回 初期値： 05	19
	リトライの手順を設定します。 設定範囲：オール/個別 初期値： オール	19
	リトライ終了の種類を設定します。 設定範囲：レスポンスストップ/オールコール 初期値： オールコール	19
定期通報	定期通報の条件を設定します。 定期通報：有/ 無 通報先：5カ所まで 通報時刻：00：00～23：59 通報周期：1/7/14/28日毎 通報曜日：日曜日～土曜日	20
接点入力判定条件	チャタリング等による誤動作防止のため、各接点ごとに入力条件を設定します。 接点状態： A接点 /B接点 通報先： 1 , 2, 3, 4, 5 判定時間：0.1/0.5/ 1 /2/5/10/20/50/100 メッセージ：最大10文字（空白）	21
停電通報	機器の停電を通報する通報先を設定します。 通報先： 1 , 2, 3, 4, 5	22
復旧通報	復旧通報を行うか、どうかを設定します。 復旧通報： しない /する	22
自動着信	自動着信を行うか、どうかを設定します。 自動着信： しない /モデム/音声 ※自動着信を「モデム」に設定する事により、パソコン等とモデムを使用して随時、状態を監視できます。さらに、遠隔設定、及び出力接点の制御も可能となります。 また、「音声」に設定する事により、電話を使用して音声により随時、状態を監視可能となります。 ただし、自動着信を「しない」、又は「音声」に設定した場合には、遠隔設定、及び出力接点の制御は行えなくなります。	23

太字は初期値です。

■ 通報先電話番号の設定

設定レベル 1 に移行し、「TEL セッテイ」にして下さい。
 (例：通報先電話番号 1 に「044-123-4567」を設定します。)

変更キーを押すと、1 番目の通報先が表示されます。
 未設定のときは、1 桁目にカーソルだけが表示されます。

シフトキー (→) とアップキー (↑) を使って、通報先の電話番号を設定していきます。
 ここで、アップキーを押した時のカーソル位置の桁の表示順序は次のようになります。

- [1] [2]・・・[0] [,] [-] []
- [,] : ポーズ (3.5 秒固定)
- [-] : 区切り (表示のみ)
- [] : 電話番号の終了コード

決定キーを押すと、設定された 1 番目の通報先を更新し、2 番目の通報先設定の表示に変わります。

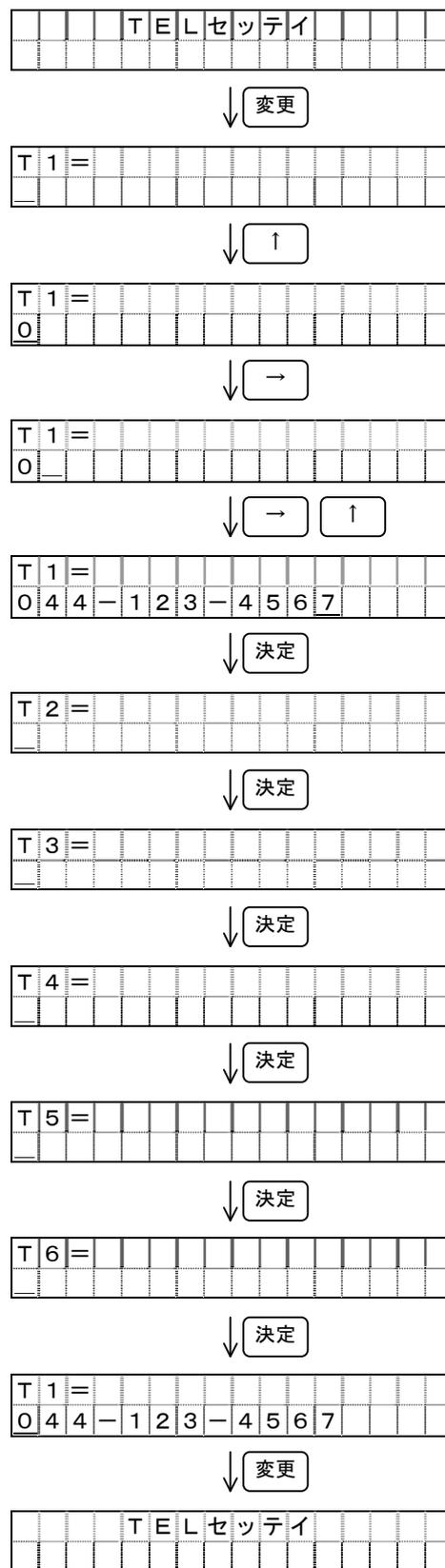
2 番目も 1 番目のときと同じ手順で設定して下さい。
 決定キーを押すと、3 番目の通報先に進みます。

3 番目以降、6 番目の通報先設定まで同じ手順で設定して下さい。6 番目の通報先を表示しているとき、決定キーを押すと、再び、1 番目の通報先設定に戻ります。

6 番目の電話番号は携帯電話へのメール送信時に使用するサービスセンター用の電話番号です。
 メールを使用する場合のみ設定してください。

どの通報先の設定中でも、変更キーを押すと、通報先電話番号の設定項目に戻ります。

(注) スペース「 」のある行からシフトキーを押すと、カーソルは右に行かずに、最初の桁に戻ります。
 スペースが表示されると、その桁から右は全てスペース表示となり、決定キーを押すとそのまま設定されます。



■ 通報先種別の設定

設定レベル 1 に移行した後、シフトキー (→) で設定項目を「TEL シュヘツツセツテイ」にして下さい。

(例：通報先種別 1 を「オンセイ」、通報先種別 2 を「モデム」に設定します。)

変更キーを押すと、1 番目の通報先種別を表示します。
アップキー (↑) で通報先種別の内容を指定して下さい。
アップキーを押した時の表示順序は次のようになります。

[モデム] [ポケベル] [オンセイ] [メール(A)] [メール(B)]

決定キーを押すと、指定された 1 番目の通報先種別を更新後、表示が 2 番目の通報先種別になります。

2 番目、3 番目、4 番目、5 番目の通報先種別も 1 番目の通報先種別と同じ手順で設定して下さい。

5 番目の通報先種別の設定が終了すると、再び、1 番目の通報先種別設定に戻ります。

どの通報先の通報種別の設定中でも、変更キーを押すと、通報先種別の設定項目に戻ります。

設定項目の内容

[モデム] モデムとデータ通信。

[ポケベル] ポケベルに状況をメッセージで送信。

[オンセイ] 固定電話、もしくは携帯電話に音声通報。

[メール(A)] 携帯電話に入力全点の状況をメール送信 (※)。

[メール(B)] 携帯電話に変化分のみ状況をメール送信 (※)。

※：ショートメール、Cメール、スカイメール



■現場No.の設定

設定レベル1に移行した後、シフトキー（→）で設定項目を「ケンパ No. セッテイ」にして下さい。

（例：現場No.を「00005」に設定します。）

変更キーを押すと、設定されている現場No.を表示します。

シフトキーとアップキー（↑）を使って、現場No.を設定していきます。

編集できる現場No.の範囲は「00000」～「ZZ999」です。

（現場No.5桁のうち、前2桁はアルファベットを設定することが可能です。）

アップキーを押した時のカーソル位置の桁の表示順序は次のようになります。

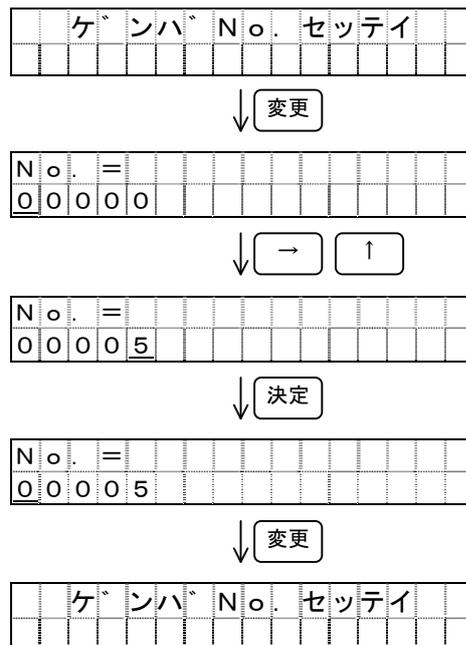
前2桁：[0] [1]・・・[9] [A] [B]・・・[Z]

後3桁：[0] [1]・・・[9]

決定キーを押すと、設定された現場No.を更新します。

更新後、表示内容はそのまま、カーソルだけが1桁目に移動します。

変更キーを押すと、設定項目表示に戻ります。



■回線種別の設定

設定レベル1に移行した後、シフトキー（→）で設定項目を「カイセンセツテイ」にして下さい。

（例：[DP] **ダイヤル回線**に設定します。）

変更キーを押すと、設定されている回線種別が表示されます。

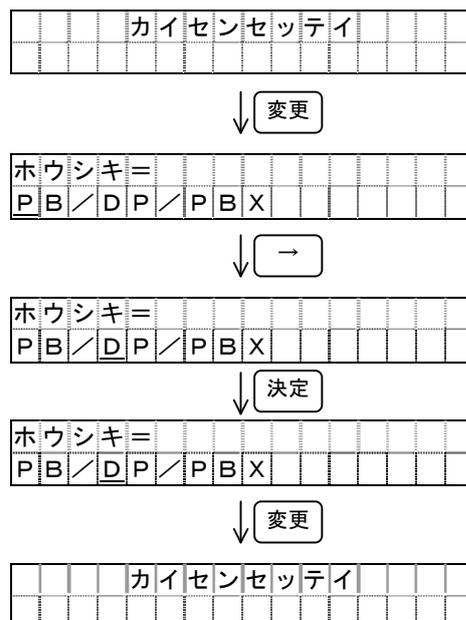
シフトキーで回線種別を選択して下さい。

ダイヤル回線に接続する場合は [DP] を、プッシュ回線に接続する場合は [PB] を、構内回線に接続する場合は [PBX] を選択して下さい。

決定キーを押すと、選択した回線種別を使用する回線として更新します。

変更キーを押すと、設定項目表示に戻ります。

注意：PBXの設定では、モデム通信のみ動作可能です。



■リトライ回数の設定

設定レベル2に移行して「リトライセツテイ」して下さい。

（例：リトライ回数を「6」に設定します。）

変更キーを押すと、設定されているリトライ回数が表示されます。シフトキー（→）とアップキー（↑）でリトライ回数を指定して下さい。

指定できる回数：0回（「00」）～99回（「99」）

決定キーを押すと、表示している数値をリトライ回数として更新します。

決定キーを押すと、設定されているリトライ動作が表示されます。

アップキー（↑）でリトライ動作モードを指定して下さい。

指定できる動作モード：

オール：通報先が話中の場合は次の通報先へ通報を行ってから話中の番号へリトライします。

個別：通報先が話中の場合は、1分後にリトライを行い、通報が完了するか、リトライ回数オーバーになってから、次の通報先へ通報します。

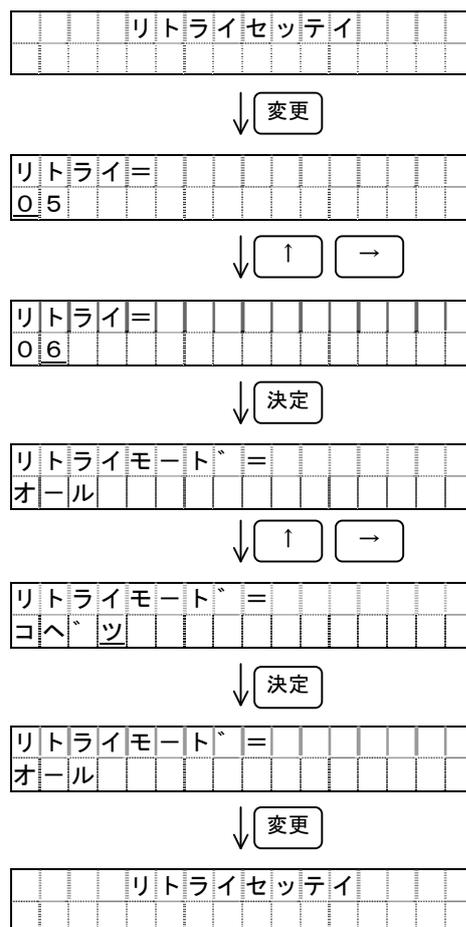
決定キーを押すと、表示している状態ををリトライ動作として更新します。

変更キーを押すと、設定項目表示に戻ります。

※ リトライ間隔は1分です。

※ 「00」はリトライしません。

動作は『16. リトライ動作』を参照して下さい。



■接点入力判定条件の設定

設定レベル2に移行した後、シフトキー（→）で設定項目を「セッテンセッテイ」にして下さい。

（例：接点1の条件を、「B接点動作」、判定時間を「10秒」、通報先を「通報先1」と「通報先3」に設定します。）

変更キーを押すと、接点入力1のA/B接点選択の画面が表示されます。

シフトキーで、接点入力がA接点動作をするときには[A]を、B接点入力動作をするときには[B]を指定して下さい。

決定キーを押すと、指定された接点動作を更新し、接点の判定時間選択表示に変わります。

アップキー（↑）でチャタリング等の影響を受けない時間を次の時間から指定して下さい。

0.1/0.5/1.0/2.0/5.0/10/20/50/100（秒）

決定キーを押すと、指定された判定時間を更新し、接点の通報先設定表示に変わります。

シフトキーとアップキーで通報先を指定して下さい。通報先を有効にする場合、その通報先の番号を表示させて、通報先を無効にする場合、通報先の表示を[*]にして下さい。表示切替はアップキーで交互に切り替わります。

決定キーを押すと、指定された判定時間を更新し、メール通報(B)のメッセージ設定表示に変わります。

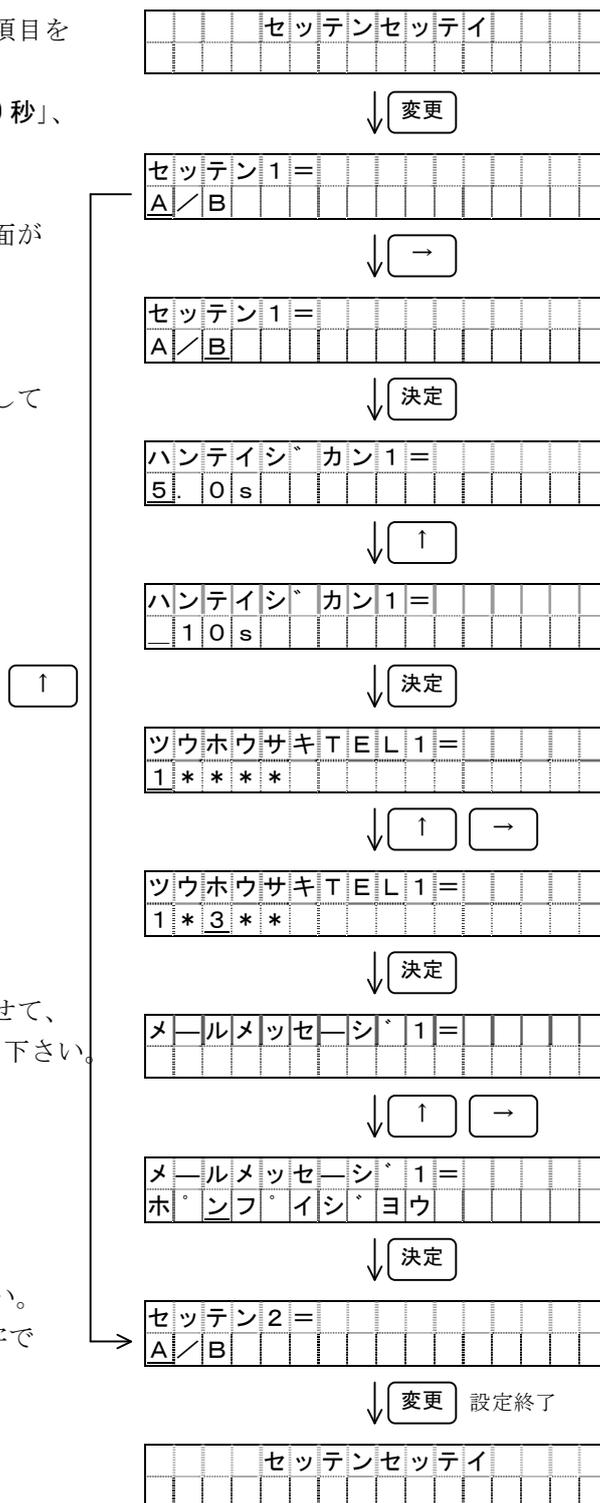
シフトキーとアップキーでメッセージを設定して下さい。設定できる文字は0~9、A~Z、ア~ン、`、°の半角文字で小文字などは使用できません。

決定キーを押すと、指定された通報先を更新し、接点入力2の設定表示に変わります。

接点入力2以降も接点入力1と同じ手順で「接点入力8」まで繰り返して設定して下さい。各設定項目の設定中に、変更キーを押すと、設定項目表示に戻ります。

注：接点入力のA/B接点選択表示「セッテン n=A/B」（n=1~8）

のとき、アップキーを押すと、次の接点入力の設定表示になります。



■ 停電通報先の設定

設定レベル2に移行した後、シフトキー（→）で設定項目を「テイテンセツテイ」にして下さい。

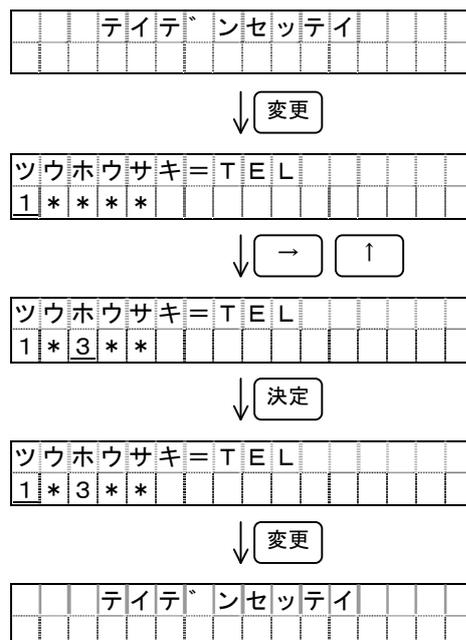
（例：停電時の通報先を「通報先1」と「通報先3」に設定します。）

変更キーを押すと、設定されている停電時通報先が表示されます。

シフトキーとアップキー（↑）で通報先を指定して下さい。
 通報先を有効にする場合、その通報先の番号を表示させて、
 通報先を無効にする場合、通報先の表示を[*]にして下さい。
 表示切替はアップキーで交互に切り替わります。

決定キーを押すと、設定された通報先を更新します。

変更キーを押すと、設定項目表示に戻ります。



■ 復旧通報の設定

設定レベル2に移行した後、シフトキー（→）で設定項目を「フッキュウツウホウセツテイ」にして下さい。

（例：復旧通報を「スル」に設定します。）

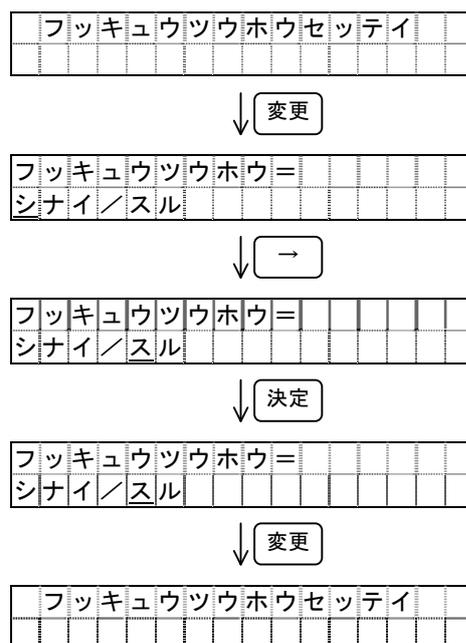
復旧通報を行う様に設定する事により、各接点の状態が設定（A接点／B接点）に戻ったのを把握できるようになります。

変更キーを押すと、現在の復旧通報の設定が表示されます。

シフトキーで復旧通報の実行の有無を選択して下さい。
 復旧通報を行う場合は「スル」を、行わない場合は「シナイ」を
 選択して下さい。

決定キーを押すと、復旧通報を行うか、行わないかの設定を
 更新します。

変更キーを押すと、設定項目表示に戻ります。



■自動着信の設定

設定レベル2に移行した後、シフトキー（→）で設定項目を「ジトウチャクシン」にして下さい。

（例：自動着信を「オンセイ」に設定します。）

変更キーを押すと、現在の自動着信の設定が表示されます。

アップキー（↑）で自動着信を指定して下さい。

自動着信を無効にする場合には「シナイ」を、

パソコン等で通信する場合には「モテム」を、

電話でリモート確認する場合は「オンセイ」を指定して下さい。

決定キーを押すと、選択された機能を更新します。

変更キーを押すと、設定項目表示に戻ります。



11. 通報履歴の確認

■ 通報履歴の確認

監視モードの時、アップキー（↑）を押すと、通報確認モードに入ります。

最初に現在の状態が表示されます。アップキーを押すと、過去に通報があれば、その内容を表示します。

現在の情報 / 出力 / 入力情報										停電			
M	O	N	1	1	2	3	4	5	6	7	8	P	
'	9	9	/	0	2	/	0	3	1	2	:	3	5

出力 1 : ON
0 : OFF

アップキーを押すごとに、先頭の番号を進め、9回以上の通報履歴があれば、9回目まで表示し、さらにアップキーを押すと、再び、現在の情報を表示します。

通報の回数が9回以下であれば、通報した数だけ表示し、現在の表示に戻ります。

決定キーを押すと、監視モードに戻ります。

また、1分間キー操作をしなかった場合にも、自動的に監視モードに戻ります。

監視モード

			S	u	p	e	r	8	1	V	M	O	N
'	9	9	/	0	2	/	0	3	1	2	:	3	5



現在の情報

M	O	N	1	1	2	3	4	5	6	7	8	P	
'	9	9	/	0	2	/	0	3	1	2	:	3	5



通報 1

1			1	1	0	0	0	0	0	0	0		
'	9	9	/	0	2	/	0	3	1	2	:	3	5



通報 2

2			0	1	0	3	0	0	0	0	0	P	
'	9	9	/	0	2	/	0	3	1	2	:	3	3



監視モード

12. ポケベル発信

(1) 接点通報

通報に値する接点の変化が発生すると、設定された通報先に対して以下のメッセージを送信します。

(『10-2-B レベル2の設定』の『接点入力判定条件』、『復旧通報』で決定されます。)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
A	B	3	4	5	-	1	2	3	4	5	6	7	8	

ID番号 : 00000~ZZ999

通報が発生している接点は接点番号を表示します。
発生のない接点は0を表示します。

(2) 停電通報

停電が発生すると、設定された通報先へ通報する。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8
A	B	3	4	5	-	9	9	

ID番号 : 00000~ZZ999

「99」固定です。

13. 電話への通報

電話への通報は音声合成メッセージによって行います。

(1) 通報発生・復旧通報

電話への通報の場合、接点入力1～8の変化は、各接点ごとに発生、復旧、継続を区別し、一度にまとめて通報します。また、停電の発生、復旧、継続についても、接点入力の変化と一緒にまとめて通報します。以下に発生通報・復旧通報の代表的な例を示します。

例1：「こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が発生しました。」

例2：「こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が発生、〇番と〇番が継続中です。」

例3：「こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が復旧しました。」

例4：「こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が復旧、〇番と〇番が継続中です。」

例5：「こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が発生、〇番と〇番が復旧、〇番と〇番が継続中です。」

なお、復旧通報は、復旧通報設定で復旧通報を「**スル**」に設定する必要があります。

(P 2 2の「復旧通報の設定」を参照して下さい。)

(2) 定期通報

あらかじめ設定された時刻に、その時点の接点入力状態を通報します。

例1：「定期通報です。こちらは××〇〇〇です。すべて正常です。」

例2：「定期通報です。こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が継続中です。」

(3) 停電発生・復旧通報

停電発生時、及び停電復旧時、以下の様に通報します。

停電発生時：「こちらは××〇〇〇です。停電が発生しました。」

停電復旧時：「こちらは××〇〇〇です。停電が復旧しました。」

なお、停電復旧通報は、復旧通報設定で復旧通報を「**スル**」に設定する必要があります。

(P 2 2の「復旧通報の設定」を参照して下さい。)

(4) 現状確認メッセージ

モニター機能が「**オンセイ**」に設定されている時、外部から電話が掛かってくると現在の状況を知らせるメッセージが再生されます。

例1：「こちらは××〇〇〇です。すべて正常です。」

例2：「こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が継続中です。」

例3：「こちらは××〇〇〇です。停電中です。」

例4：「こちらは××〇〇〇です。〇番と〇番が継続中、停電中です。」

(5) 回線の切断

(1)～(4)の音声合成メッセージは3回再生した後、電話を切断します。

14. メール(A)への通報

携帯電話メールへの通報は各社のショートメールサービスによって行います。

(1) 通報発生・復旧通報

電話への通報の場合、接点入力1～8の変化は、各接点ごとに発生、復旧、継続を区別し、一度にまとめて通報します。なお、各入力に設定したメールメッセージはこの送信では使用できません。停電の発生、復旧についても、接点入力の変化と一緒にまとめて通報します。以下に発生通報・復旧通報の代表的な例を示します。

表示例1：現場No.AB123、1番5番8番がONの場合

「ID(AB123) 1(0) 2(X) 3(X) 4(X) 5(0) 6(X) 7(X) 8(0)」

なお、復旧通報は、復旧通報設定で復旧通報を「**スル**」に設定する必要があります。

(P 2 2の「復旧通報の設定」を参照して下さい。)

(2) 定期通報

あらかじめ設定された時刻に、その時点の接点入力状態を通報します。

表示例2：現場No.AB123、1番2番3番がONの場合

「ID(AB123) (テイツウホ) 1(0) 2(0) 3(0) 4(X) 5(X) 6(X) 7(X) 8(X)」

(3) 停電発生・復旧通報

停電発生時、及び停電復旧時、以下の様に通報します。

表示例3：停電発生、現場No.AB123、4番5番6番がONの場合

「ID(AB123) (テイデン) 1(X) 2(X) 3(X) 4(0) 5(0) 6(0) 7(X) 8(X)」

表示例4：停電復旧、現場No.AB123、全てOFFの場合

「ID(AB123) (テイデンフツキユ) 1(X) 2(X) 3(X) 4(X) 5(X) 6(X) 7(X) 8(X)」

なお、停電復旧通報は、復旧通報設定で復旧通報を「**スル**」に設定する必要があります。

(P 2 2の「復旧通報の設定」を参照して下さい。)

(4) 回線の切断

通報はメールメッセージを送信した後、自動的に電話を切断します。

※メール送信を使用する場合は、電話番号6にメールサービスセンターの電話番号を登録して下さい。メールセンターは各電話会社、各地域によって異なりますので、携帯電話の取扱説明書をご覧頂くか、各メーカーにお問合せください。

15. メール(B)への通報

携帯電話メールへの通報は各社のショートメールサービスによって行います。

(1) 通報発生・復旧通報

電話への通報の場合、接点入力1～8の変化は、各接点ごとに発生、復旧、継続を区別し、変化分のみを通報します。ただし、一部の携帯電話でメールの文字数規制の関係で一度にメッセージが遅れない場合がありますので、一度に送信する変化分は2点までとしています。変化分が3点以上ある場合は、それぞれ2点に分けて別途送信いたします。なお、このメール送信は各入力に設定したメールメッセージが表示されます。また、停電の発生、復旧、定期通報は強制的にメール(A)にて送信します。以下に発生通報・復旧通報の代表的な例を示します。

表示例1：現場No.AB123、1番5番8番がON変化の場合

各メッセージは「ニューヨーク*」(*には1～8の数字)を設定。

一回目の送信「ID(AB123) ニュヨーク1(ON) ニュヨーク5(ON)」

二回目の送信「ID(AB123) ニュヨーク8(ON)」

表示例2：現場No.AB123、2番7番がON変化、4番6番がOFF変化の場合

各メッセージは「ニューヨーク*」(*には1～8の数字)を設定。

一回目の送信「ID(AB123) ニュヨーク2(ON) ニュヨーク4(OFF)」

二回目の送信「ID(AB123) ニュヨーク6(OFF) ニュヨーク7(ON)」

なお、復旧通報は、復旧通報設定で復旧通報を「**スル**」に設定する必要があります。
(P 2 2の「復旧通報の設定」を参照して下さい。)

(2) 定期通報

あらかじめ設定された時刻に、その時点の接点入力状態を通報します。

表示例3：現場No.AB123、1番2番3番がONの場合

「ID(AB123) (テイツツホ) 1(O) 2(O) 3(O) 4(X) 5(X) 6(X) 7(X) 8(X)」

(3) 停電発生・復旧通報

停電発生時、及び停電復旧時、以下の様に通報します。

表示例4：停電発生、現場No.AB123、4番5番6番がONの場合

「ID(AB123) (テイテン) 1(X) 2(X) 3(X) 4(O) 5(O) 6(O) 7(X) 8(X)」

表示例5：停電復旧、現場No.AB123、全てOFFの場合

「ID(AB123) (テイテンツキユ) 1(X) 2(X) 3(X) 4(X) 5(X) 6(X) 7(X) 8(X)」

なお、停電復旧通報は、復旧通報設定で復旧通報を「**スル**」に設定する必要があります。
(P 2 2の「復旧通報の設定」を参照して下さい。)

(4) 回線の切断

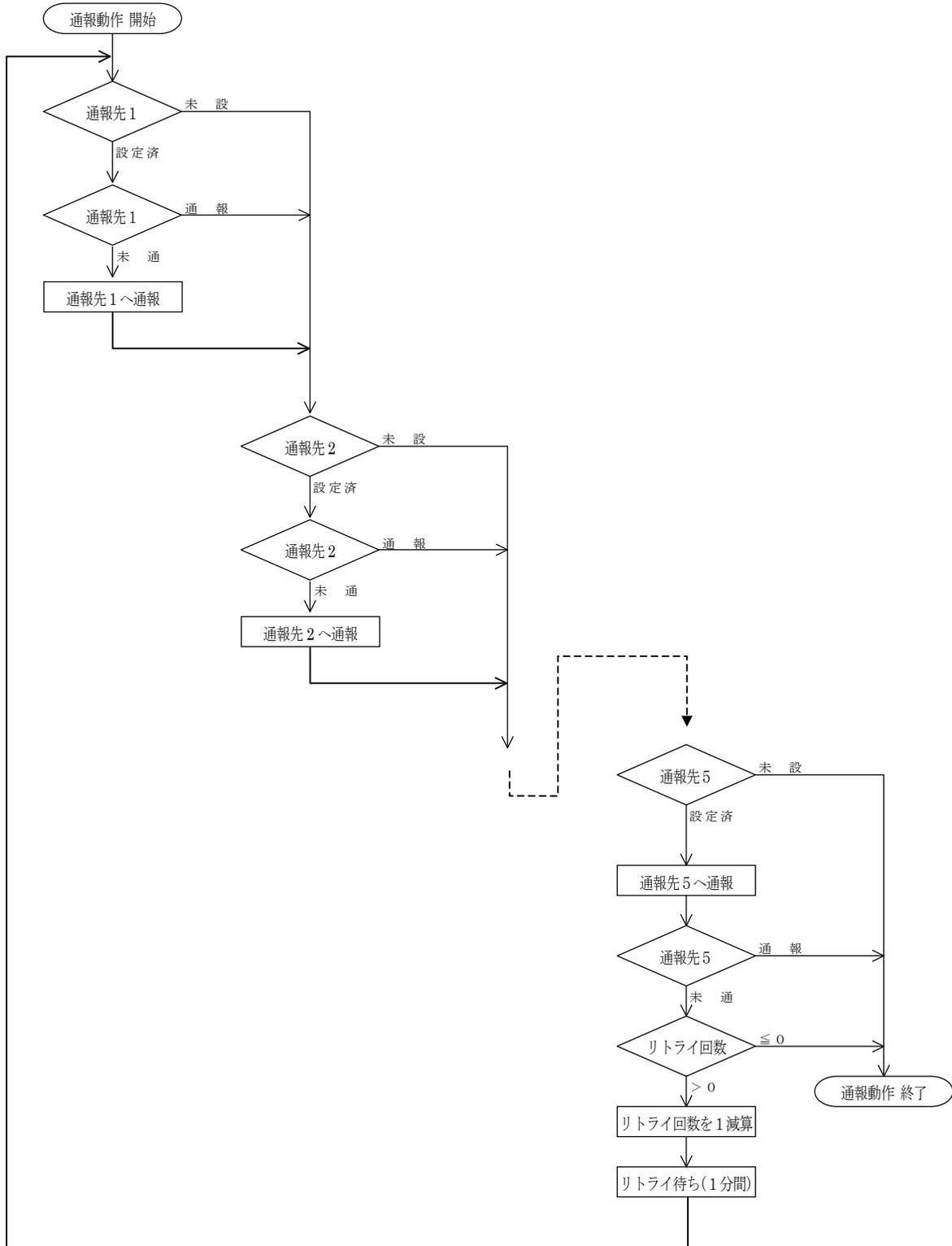
通報はメールメッセージを送信した後、自動的に電話を切断します。

※メール送信を使用する場合は、電話番号6にメールサービスセンターの電話番号を登録して下さい。メールセンターは各電話会社、各地域によって異なりますので、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。各メーカーにお問い合わせください。

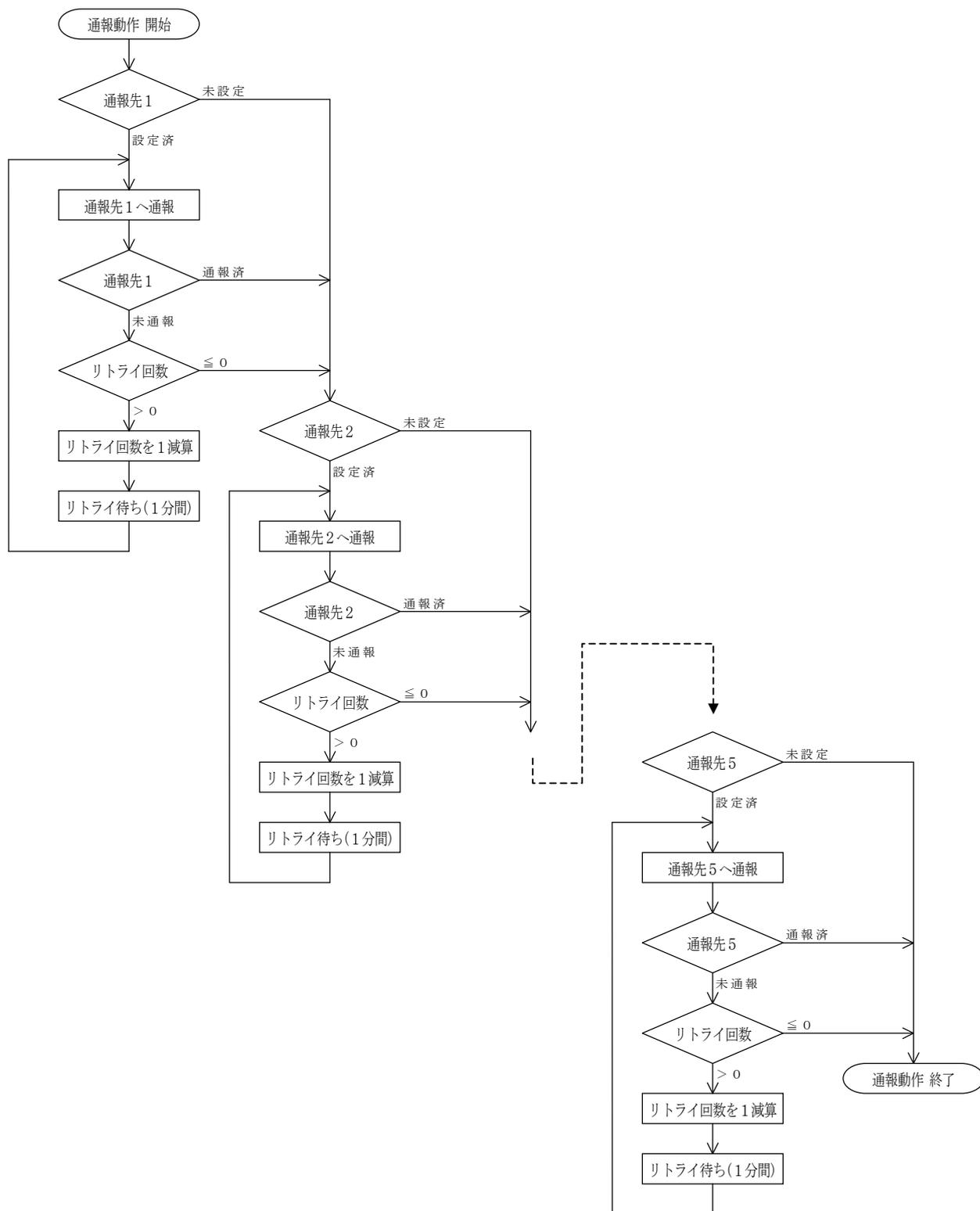
16. リトライ動作

レベル2の設定でリトライ回数が「0」以外が設定されていて、レベル1の設定で設定されている通報先に話中等で通報できない時、設定されているリトライ回数、通報を試みます。
通報動作、及びリトライ動作の処理概要フローチャートを以下に示します。

■リトライモード『オール』に設定した場合



■リトライモード『コベツ』に設定した場合



■レスポンスストップとオールコールについて

リトライ終了の種類として「レスポンスストップ」と「オールコール」の二種類があります。
 これは通報が成功、またはリトライ動作が終了した場合、次の通報先への通報を選択する機能です。
 レスポンスストップ：通報がリトライ動作を省いて一箇所でも通報完了した場合、通報を終了します。
 オールコール：全ての通報先が通報完了（リトライ動作含む）するまで通報を継続します。

17. 音声合成メッセージ一覧

音声合成メッセージは以下に挙げる音声一覧表内の音声内容の組み合わせにより構成されています。

音声一覧

音声種別	音 声 内 容	備 考
音声 1	『こちらは』	メッセージヘッダ
音声 2	『0 (ゼロ)』、『1』、『2』、『3』、『4 (よん)』、『5』、『6』、『7 (なな)』、『8』、『9』、『A』、『B』、『C』、『D』、『E』、『F』、『G』、『H』、『I』、『J』、『K』、『L』、『M』、『N』、『O』、『P』、『Q』、『R』、『S』、『T』、『U』、『V』、『W』、『X』、『Y』、『Z』	局 ID - 1
音声 3	『です。』	局 ID - 2
音声 4	『定期通報』	定期通報
音声 5	『一番』、『二番』、『三番』、『四 (よん) 番』、『五番』、『六番』、『七 (なな) 番』、『八番』	接点番号
音声 6	『と』、『が』	接続詞
音声 7	『発生』	状態 - 1
音声 8	『継続中』	状態 - 2
音声 9	『復旧』	状態 - 3
音声 10	『すべて正常です。』	状態 - 4
音声 11	『停電』	状態 - 5
音声 12	『停電中』	状態 - 6
音声 13	『しました。』	完了文

19. 困ったときには

本装置を設置運用時に正常に動作しない時、すぐに故障と判断せずに下表をご確認下さい。

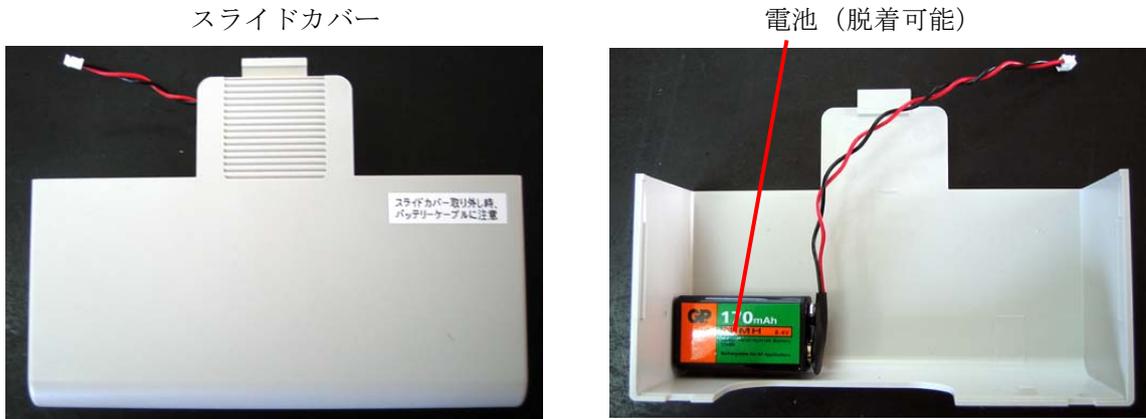
症 状	チェック項目・対策	参照ページ
LCD に何も表示されない。	・ 外部電源を確認して下さい。	7
電話発信しない。	・ 本装置と電話回線を接続して下さい。	5
	・ 通報先電話番号の設定を確認して下さい。	15
	・ 回線種別の設定を確認して下さい。	19
	・ 接点入力判定条件の設定を確認して下さい。	21
電話着信しない。	・ 本装置と電話回線を接続して下さい。	5
	・ 自動着信の設定を確認して下さい。	23
モデム通信できない。	・ 通報先電話番号の設定を確認して下さい。	15
	・ 通報先種別の設定を確認して下さい。	16
	・ 回線種別の設定を確認して下さい。	19
	・ 自動着信の設定を確認して下さい。	23
ポケベルに発信できない。	・ 通報先電話番号の設定を確認して下さい。	14
	・ 通報先種別の設定を確認して下さい。	15
	・ 回線種別の設定を確認して下さい。	19
	・ 使用するポケベルの機種を確認して下さい。	—
	・ 使用するポケベルの電源を確認して下さい。	—
停電通報されない。	・ 停電通報の設定を確認して下さい。	22
復旧通報されない。	・ 復旧通報の設定を確認して下さい。	22
音声が聞こえない。	・ 通報先種別の設定を確認して下さい。	16
	・ 自動着信の設定を確認して下さい。	23

この表のチェックをして処置を行っても、まだ正常に動作しない時、又は、この表に該当する症状がない時、当社にご連絡下さい。

20. 停電時動作保証電池 (2007年4月生産分より変更)

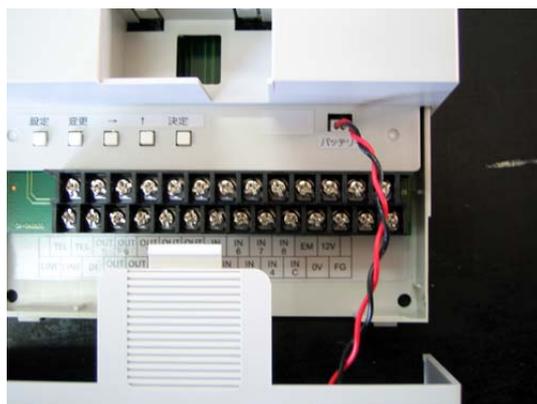
◆電池収納場所

スライドカバーの裏側にマジックテープにて固定しています。
マジックテープですので、容易に電池の脱着を行う事が可能です。



◆電池接続方法

「バッテリー」コネクタに電池のコネクタを接続してください。
スライドカバーを閉める際にケーブルの噛み込みに注意してください。



「バッテリー」コネクタに接続

ケーブルの
噛み込みに注意



◆スライドカバー取り外し時

スライドカバーを開ける際は電池のケーブルを引っ張らないようゆっくりと引いて取り外してください。



ケーブルの引っ張りに注意